

中央中等教育学校校歌 中央高等学校校歌

作詞 草野 心平
作曲 渡辺 浦人

一、春はむらさき 夏は雲
群青の秋 雪の冬
白亜に映える 学び舎に
太陽光は ふりそそぐ
おお朋がらよ 眉あげて
火の山の 高きにならえ
若人よ 腕組みて
新しき学を きわめん
群馬中央 われらが母校
われらは真と美に生きる

二、赤城風を なつかしみ
仰ぐは四季の 榛名山
校旗はためく 学び舎に
われらは集う おおらかに
おお朋がらよ 胸張りに
健康に わが身鍛えん
若人よ こぞりてぞ
新しき文化 築かん
群馬中央 われらが母校
われらは善と義に生きる



写真：現在の校舎(平成27年4月撮影)

中央 同窓会報

第24号

題字：8期 廣瀬 正史(少林山住職)



中央高等学校
昭和38年1月1日創立



中央中等教育学校
平成15年4月1日創立

CONTENTS

特集 SGH (スーパーグローバル ハイスクール) の現状	5
■ 特別寄稿	3
■ 母校だより	6
■ 進路だより	12
■ 同窓会活動報告	14
■ トピックス	15
他	

発行

群馬中央同窓会

卒業生数 14,671人 平成29年4月1日現在
(中央高等学校 13,697人 中央中等教育学校 974人)

〒370-0003 群馬県高崎市新保田中町184 TEL.027-370-6663 FAX.027-370-4910

ホームページ <http://www.chuo-ss-ob.com>

平成29年度 通常総会のお知らせ

総会終了後、懇親会を開催します。会員の皆さまの多数のご参加をお待ちしています。

日時▶平成29年6月17日(土)17時より

場所▶エテルナ高崎
高崎市栄町22-30 TEL.027-323-1122

会費▶3,000円(学生1,000円)



同窓会長あいさつ



同窓会は、 14,670余名の力

同窓会長 大島 聡

新しい時代に即応した制度の学校へバトンタッチすることを選んだ中央高校の期待通り、1学年120名の少人数ながらも素晴らしい学校として、中央中等教育学校は全国に名を知られるようになりました。

たった、14年で、前期・後期ともに運動面、文化面、学力面など、どの分野においても、入賞・優勝などの成果を出してくれています。進路進学面においても、東大をはじめとする名門校への進学は勿論、選択意思をもって自分の道を選んで進んでいる後輩の姿を見るにつけ大変誇りに思っております。

これも、様々な研究指定を受け、その中で県内の他校では実施できない特色ある教育がなされてきたからだと思っております。しかし、言い換えると研究を実践し、まとめあげた先生方のご尽力なくしては成しえられなかったものです。また、頑張っただけで成果を出してきた後輩たちが「素晴らしい学校」としての評価を勝ち取ってくれたことだと考えます。

こうした、研究指定なくしては、予算が特別につくものではなく、公平性の論理から、一校のみならず、他校へもという考えも、伺えるようです。従って、先生や生徒ばかりに任せるのではなく、同窓生も母校のためにできることを実行していくことが必要な時期に入ってきているのではないのでしょうか。

幸いなことに、昨年来、リオオリンピックマラソン代表北島康典選手をはじめとする多くの卒業生が母校を訪れるようになっております。

また、図書や寄贈や同窓会費を過分に収めてくださる方も増えております。母校への関心度が上がってきているこの今をきっかけに、多くの方がより関心を示し、物的、人的、金銭的な支援を母校へ送ってくださるよう、より一層ご協力いただくことで、互いの絆も強くなるものと思っております。

さらに、部ごと、期別ごとの同窓会ばかりでなく、同窓会主催の行事や総会などで縦に横につながっていくことも大切なことと考えております。1人1人では、なかなかできないことも、同窓会員14,670余名の力をもてば、成し得ることは多くあるのです。同窓会、母校の活動行事に、参加、協力して下さる方が増えることを期待しております。

結びに、同窓生の皆様の益々のご活躍とご健勝、母校の更なる発展を祈念し挨拶いたします。

校長あいさつ



伝統を継ぐもの

校長 松本 昭彦

平成28年度は多くの同窓生の活躍をテレビで見ることができました。リオオリンピックの北島寿典選手、箱根駅伝の早稲田大学清水欽太選手、その応援をしていた応援部の櫻井康裕主将…。その他にも多くの同窓生が様々なところで活躍しています。本校は、中央中等教育学校になって14年。まだ若い学校ですが、同窓会に加えていただき、他の新設校とは違い、中央高校の伝統を引き継ぐことができたことを改めて本当にありがたいと感じています。

さて、今年度の卒業生を加えると同窓会員ももう少しで1000人となります。卒業生たちには、志としての「フロンティアスピリット」を終生大切にしてほしいと思います。さらには、その志の上に立ち中央同窓会の一員として、幅広く世界の様々な分野で活躍できる人に育ってほしいと願っています。

現在、生徒たちはこういった人材となるべく、勉強や部活動などに頑張っています。4年目を迎える文部科学省指定「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」でも、「World Citizen科」をはじめ、「総合的な学習の時間」「SG学校行事」「明石プロジェクト」など、多彩な学習に取り組んでいます。また、部活動でもしっかり成果を上げていますが、そういった学習や取組を社会で生かすには、やはり、多様な分野で活躍する同窓生の皆さんの後ろ姿を見ることが何より大切だと思います。生徒たちには、群馬はもちろん、様々な世界で活躍する同窓生の皆さんの足跡をたどり、素晴らしい「WORLD CITIZEN」に育ってほしいと考えています。それが中央同窓会の伝統を継ぐものの役目だとも思います。

そのためには、社会で活躍されている本校同窓会の方々から学ぶべきことがたくさんあります。今年も体育祭やオープンスクール、SGH学習成果発表会をはじめ、部活動の各大会や管弦楽部定期演奏会など、生徒たちの姿をご覧いただける機会をホームページ等でご紹介していきたいと思っています。時には、生徒たちに中央同窓会の先輩として、直にご指導いただければ幸いです。今後とも温かいご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。(平成29年2月)

(※松本前校長は平成29年3月31日で退職されました)

特別寄稿

世代を超えてのコミュニケーションは仕事には必要！ 同窓会が機会の場！

(株)フジサワ 代表取締役社長

3期

藤澤 茂



♪春はむらさき 夏は雲 群青の秋 雪の冬♪卒業してからもう50年近くなるのに未だにその歌詞とメロディーが頭から離れてなく今でも唄える。当時、何で春はムラサキなのか？春に紫色の花が多く咲く事が解ったのは随分後の事でした。

「団塊の世代」と言われた私達1期～3期の卒業生は、人口（出生数）が多く、受験でも生活上でも常に競争する事が宿命でした。1960年代後半～70年代の初頭に青春時代を過ごしたこの世代の若者は「平凡パンチ」等の情報雑誌から洋服・音楽・映画・車・海外旅行等の様々な影響を強く受けて、何時か自分で“物”を手に入れたいと言う欲求が強くなりました。また、この時代は社会や会社が年功序列と終身雇用、そして上下関係を重視し会社への忠誠心が強い時代でもありました。

「高度成長期の時代」を過ごした60歳代～70歳代、そして今の世の中の中心に居て社会や会社を動かしている40歳代～50歳代の方達は「バブルの時代」を経験し、その後続く「氷河期の時代」を経験した者とはお金や物に対する価値観がまるで違っている事は会社の上下関係や異業種交流会において感じます。数年後には社会や会社の重要ポストに就く「ゆとり世代」と言われている方達は、私達が“物”を手に入れる事が目的で目標だった価値観とは違い、出世欲、物欲、結婚願望も薄れ、生まれた時から情報化社会のど真ん中で育った為に、スマホやパソコン中心の生活に慣れSNS等のネットワークを通じてオンライン上の付き合い、オフラインで仲間とのコミュニケーションも上手く出来る世代ですが、これからの時代を生きて行くためには、「同窓会」に参加して世代間格差を超え中央卒業生と言う特権を持って付き合いの出来るコミュニケーションを持つ事が必要だと思います。

中央卒業生は「フロンティア・スピリット」を持って地域社会で頑張っている事を嬉しく誇りに思います。結びに、私事で大変僣越で恐縮ですが、平成28年度春の褒章で長年の業務精励により「黄綬褒章」を国より戴きました。長いようで短い人生の中で中央出身の先輩として先鞭を付けられましたので、今後の皆さんの目標になれば幸いです。

次は皆さんの番です！

目標を持つこと

(株)丸山機械製作所 代表取締役

11期

佐藤 誠一



高校時代は硬式野球部に所属し3年間過ごしました。その間県大会決勝1回、準決勝1回と、そこそこやったという思いと同時に、もう少し高い目標を掲げていれば、もっとやれたのではないかという思いを、未だに持ち続けています。

高校卒業後は大学（城西）に進学し、2年間のサラリーマンを経験の後、父親が営む会社に入社しましたが、3年目に倒産し苦しい20代後半を経験しました。但し、ずっと経営者になる事を目指して来たので、倒産とはいえ簡単に諦める気にはなれず、まわりの人達の力を借りながら会社を再建し、40代で別の会社の経営にも携わり現在に至っています。

今考えてみると苦しい時代も含め、常にその時点での目標を定め、それを達成する事を繰り返して来ました。経営者という立場上、その殆どが仕事の事ばかりでしたが、自分が目標を持って行動した事で、まわりの人からの協力も得られたのだと思います。

その後年を重ねるにつれて目標も変化し、今は仕事ばかりではなく、日本国内で中古のクツ等を集め、東南アジアの恵まれない地域の子どもの元へ、送り届けるボランティア活動等も行っています。

ところで、私には後悔している事が一つあります。それは英語の能力を付けて来なかった事です。在学当時その必要性について、何も考えてなかったのですが、仕事も含め海外へ行く機会が増えた現在、ビジネスか否かを問わず、自分にとってマイナス要因となっています。その点皆さんは、有利な位置にいると思うので、その環境を生かしてしっかりと学習して下さい。後に必ず生きて来るはずですよ。

さて、皆さんには将来の大きな目標がありますか？又、その達成の為に短期的な目標をたてて、繰り返し達成していますか？それが出来ていれば理想的ですが、もし大きな目標を見失っている場合には、目先の小さな事だけでも良いから、常に目標をたてて達成する事を繰り返して下さい。そうする事で本来あるべき、将来の目標が見えて来るでしょう。

最後に同校の益々の発展を願うと同時に、生徒の皆さんが今後大きく成長してくれる事に期待します。私自身も未だ成長途中だと自分に言い聞かせ、これからも様々な事に挑戦して行くつもりです。

特別寄稿

唯々歩めば至る

陸上自衛隊第12偵察隊

中等1期 山上 真史



このたびは、群馬中央同窓会会長・大畠聡様から会報への寄稿させていただき貴重な機会を頂きましたので、まだまだひよっこの社会人である私が、人生の支えとしている言葉を、後輩たちに紹介させていただきたいと思います。

さて、この文の題である「唯々歩めば至る」というのは、私が陸上自衛隊幹部候補生時代に、学校長から教えていただいた言葉です。私は、勉学は物理専攻と理系、中等時代部活動は管弦楽部と文化系、なのに進学先は防衛大学校と体育会系。とまあ自分の人生に後悔することも多々ある中、防大は4年で無事に卒業し、次なる関門、陸上自衛隊幹部候補生学校に入校しました。防衛大学校学生は自衛隊的なことをする大学生、はたまた幹部候補生は自衛隊的なことしかしない体育会系の権化、といったようなものです。防大を卒業した自分はまあ何とかなるだろうと高をくくっておりましたが、そうは問屋が卸さず、私は真剣にリタイアを考えました。そんな時に出会ったのが、「唯々歩めば至る。」です。学校長は「どんなに困難なことでも、一步一步歩んでいけば、いつかは道が開ける。しかし、歩まなければいつまでも開けない。」とおっしゃっていました。この言葉を聞き、何とかすれば何とかなる、と思い込み、リタイアせずに現在まで至っております。この言葉に似て非なるもの、「時間が解決する」がありますが、こちらは時間が過ぎるのをただ待つだけであります。しかし、それは諦めであり、解決ではありません。

みなさんは、成績や進路といったものや、みなさんの年代独特のもの、あるいは独自の悩みを抱えているでしょう。しかしながら、何とかあります。諦めないでください。しかしながら、何とかしなければ、何ともなりません。何とかするためには、唯々歩むしかないのです。どんなに小さな一歩であっても、歩み続けさえすれば、道は開けます。

そんなことは知っているという生徒のみなさんは、引き続き歩み続けてください。明るい未来が待っています。この言葉を気に入ってくれた生徒のみなさんは、この言葉を頭の片隅に置きながら、歩んで行ってください。私は、仕事で上司に駄目だしをくらいつつ、一步一步歩んでいきたいと思ひます。

国際人を楽しむ

中等1期 嶋村 江莉奈



「6年経ったら国際人」というスローガンの元、最初の中央中等教育学校生として勉強し、卒業してからもうすぐ7年経つ。生涯取り組むべき課題を食料問題に定め、選んだ分野は農学。学士課程中に様々な環境下で行われる農業を一通り学び、修士課程は国際農林水産業研究センター（通称JIRCAS、日本で唯一国際的な農業研究を主軸にした機関）でコメ増産のため肥料利用効率の高い品種育成を目指した研究を行った。この研究があまりに複雑でやりがいのあるものだったので、より深く極めてみようと思ひ立ち、現在、私はベルギーの大学の博士課程に入学し、マダガスカル中央高地の一面で圃場試験をしている。目標はもちろん、研究者として食料問題の解決に取り組むこと。常に新しい場所で新しいものと出遭い、新しいものの良さに驚いたり古いものの良さを再発見したりということが好きなので、自分の活躍する（予定の）フィールドはどの国にも限定しないことにする。人を救うために働くと思ひましたが、同時に冒険も楽しみたい私なりの進路選択だ。

今も母校が同じスローガンを持ち続けているのかわからないけれど、この記事を読んでいる今の中等生にとって、私のこの生き方が、進路選択を行う上で、ある1例として多少なりとも参考になると嬉しい。海外で活躍したいという人へ、中央中等教育学校からそのような進路を取ることは可能であると伝えたい。ここで得た英語能力と、単なる英会話を超えた異文化コミュニケーションの感覚は、日本の外で活動している今とても役に立っている。後者に必要なのは、自分の理解の基準や枠組みを限定しない柔軟さと、それでいて日本的な部分も捨てないこと、そして時折「理解できないことを理解する」ことだ。特に、世界だけ知っていても不十分。日本も含めての国際社会だからだ。難しいけれど、それらのできたとき自分の世界が一気に広がるのを感じる。

最後に、世界を救う仕事に就こうと思ひったとき、真剣にかつ楽しんで取り組むべきだと思ひます。楽しむ心が創造力を生み、素晴らしい仕事に繋がる。「国際人」に決まったモデルはないけれど、国際社会に必要なとされる人材になれるよう、これからも研鑽を重ねようと思ひます。楽しむ心も忘れずに。

特集

SGHの現状

平成26年度から5年間、文部科学省のスーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定され、将来のグローバル・リーダーの育成に力を注いでいます。

3年目となる今年度は、昨年度までの2年間の取り組みに対して、文部科学省による中間評価が行われ、「中等教育学校の特徴を生かし、6年間を貫いた計画の下、探究的な取組が系統的に行われており、グループ研究、個人研究、学校行事については、大学・企業との連携を通じて、当初の計画以上に進んでいる点が評価できる。一方で、国内外の大学との連携については、専門性の高い指導や高大接続の改善が必要である。」等のコメントをいただきました。

研究開発の中心となる4つの柱は、グループ研究の「World Citizen科（学校設定教科）」、個人研究の「地球市民育成プロジェクト（総合的な学習の時間）」、海外フィールドワークやグローバルウィーク、イングリッシュキャンプ等の「SG（スーパーグローバル）学校行事」、課外活動の「明石プロジェクト」であり、このうち3つの取り組みで好評を得ました。

残る1つの「明石プロジェクト」も、昨年度から軌道に乗り始め、今年度は70名を超える生徒が6つのゼミに分かれて、毎週2回、昼休みを中心に明石ルームを会場に、課題研究等に取り組んでいます。また、今年度は生徒会の正式な組織となり、学校外での活動も可能となったことから、全国大会出場等、大きな成果を上げてきました。

例えば、全日本高校模擬国連大会（模擬国連ゼミ）、SGH関東甲信越静大会（He For Sheゼミ、ESD環境ゼミ）、全国SGH校生徒成果発表会（ハワイ研修ゼミ）に初出場を果たした他、英語ディベートゼミは昨年度に引き続き全国大会へ出場し、ハワイ研修ゼミは3月にはSGH甲子園出場が決まっています。

また、ハワイ研修ゼミの中心となるハワイ島での海外研修は、中央大学・ハワイ大学との連携により、昨年度から8月に1週間の日程で実施しているもので、3～5年生の希望者から選抜された12名が参加できます。5年生のシンガポール修学旅行（海外フィールドワーク）、4年生のボストン等への地球市民研修（選抜30名）に次ぐ、3つ目の海外研修として、課題研究に関するフィールドワークや現地校（ヒロ高校とワイアケア高校）との研究交流、ハワイ大学ヒロ校訪問、ホームステイ等の特徴をしています。

なお、明石プロジェクトの活動単位であるSGゼミは、生徒の希望により組織するもので、来年度は群馬イノベーションアワード（GIA）ゼミが加わることになり、すでに生徒は活動を始めています。

一方、改善を指摘された「国内外の大学との連携」については、大学の関係者との協議を重ねた結果、互いの事情等をよく理解することができ、より円滑に連携できる体制が整いました。

本校の連携大学は、中央大学、群馬大学、群馬県立女子大学の3大学です。

中央大学からは多くの教員と学生が授業の指導に來校するほか、何人もの留学生を派遣していただいています。また、毎年打ち合わせ等で教員が訪問したり、昨年度は生徒が訪問して課題研究の指導助言を受けたりするなど、連携の中心となる大学です。

群馬大学と群馬県立女子大学からは、7月・9月・2月・3月に実施している校内発表会（7月・9月・3月は学校関係者に公開）での指導助言者として多くの教員・学生を派遣していただいています。また前期課程の授業では、群馬大学からは留学生、群馬県立女子大学からは外国人教員も派遣していただいております。全体では昨年は100名近い外部講師が來校しました。

来年度からは、年度当初の全体講義や発表会での指導助言にとどまらず、研究の過程で研究内容に関する指導助言を得られるように協議を進めており、すでに派遣していただく教員の内諾を得るなど、改善がなされています。

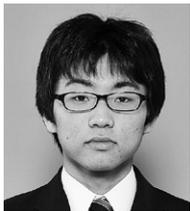
また、すでに5年間の指定終了後のことも検討を始めており、内容や授業担当者などは、毎年見直しているほか、次期学習指導要領が始まる平成33年度までのカリキュラム構想を立てています。

本校ホームページにも、SGHの活動を紹介する写真やコメントのほか、生徒の研究論文や研究発表、実践報告書等を掲載していますので、ぜひご覧ください。

なお、SG学校行事の一つである「日本の伝統文化体験」では、来年度は、日本舞踊等の文化・芸能の指導をしていただけるボランティアを募集いたします。併せて課題研究の授業で実施しているグローバルビジネス講座ではグローバルな企業展開をしている事業者の方々に講師を依頼しています。同窓会会員の皆様にも、趣旨にご賛同いただけましたら講師をご承引いただけますようお願いいたします。

（平成29年2月）

生徒会長あいさつ



OUR SPIRIT

平成28年度生徒会長
5年 大沢 康太

母校が開校し、13年という年月が流れ、生徒会本部も9年目を迎えました。だんだんと中央中等としての歴史が積み上げられていく一方で、ふと、何か物足りなさを感じる時があります。

「フロンティアスピリット」とは、「地球市民」とはなんでしょう？

この、「フロンティアスピリット」は本校の前身である群馬県立中央高等学校から中央中等が受け継いだものの1つです。4年前に私たちの学校はSGH（スーパーグローバルハイスクール）に指定され、GS（グローバルスタディーズ）やMC（マルチカルチャー）のような新たな授業を通してこれらの言葉は聞いたことがあると思います。しかし、その意味を明確に答えることは難しいと思います。

先日、生徒会室に保管されている資料の整理を行いました。いろいろな古い資料の中に、ほこりまみれの箱の中に入った昭和45年度の中央高校の生徒会誌「フロンティア」を発見しました。読んでみると、中に「幻のフロンティアスピリット」というコーナーがありました。そこには本校が受け継ぐ「Frontier Spirit」の創始者である中央高校の初代校長先生のお話が掲載されていました。お話によれば、フロンティアスピリットには意味が2つ存在するといわれています。

ですが、時代が進み、昔にはなかった教科も私たちは学ぶようになり、様々な面で日本、さらには、世界が発達しています。現在は、生徒一人一人がそれぞれ「フロンティアスピリット」を解釈し、日々高みに向かって生活しています。

今年度も多くの部活動や同好会が県内外で優秀な成績を修めています。更に、「明石プロジェクト」の一環である英語ディベートの全国大会出場をはじめジェンダー問題を考える「He For She」など多くの生徒が勉強はもちろん、部活動や様々な活動にグローバルな視野を持って取り組んでいます。

これからも、先代から受け継いだこの精神を胸に、より良い学校にしていけるよう全校生徒一丸となって尽力していきます。
(平成29年3月)

朋友祭実行委員長あいさつ



Borderを越えて

平成28年度朋友祭実行委員長
6年 島田 真帆

昨年6月、第27回朋友祭が開催されました。たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。今回の朋友祭のテーマは、「No Borders～国境なき中央生」。SGHにも指定され、日本だけではなく、“世界”に目を向ける機会の多い、中央中等での授業や生活を十分に発揮できるように、グローバルという言葉の中核におきました。また、Bordersとは、国境のことだけではありません。私たちは、自分たちの限界を越えていくという意味も汲み取り、このテーマに見合った朋友祭にできるよう、準備を進めました。私自身、行事で実行委員を務めることすら初めてだったので、実行委員長に挑戦するというのは、それだけで大きな挑戦でした。しかも私だけでなく、総務の全員が実行委員会に初参加のメンバーであり、「朋友祭初心者」といったところでした。最初は不安でしたが、全員の力が小さい分、それぞれの力を持ち寄って活動するうちに、1人1人の存在がとても大切で、大きなものとなっていきました。団結力言えば、歴代最高なのではないかと自負しているほどです。そんな中、私たちはたくさんの方に挑戦しました。特に壁画の作成は、私たちにとっては大きな挑戦でした。毎年体育館のステージに飾ってあるのですが、今まで作成に携わった人が1



人もいない中での作成は本当に大変でした。始め方すらわからず、試行錯誤を繰り返しながら台紙をやっと完成させた頃には、始めてから一週間以上経過していたような気がします。そこからの作業も想像以上に大変で、完成は朋友祭開催の直前になってしまいました。画用紙を貼っている間は、どんな絵になっているのかもわからず途方もない作業でしたが、1枚1枚の模造紙を貼り合わせて絵が完成した時の喜びや興奮は、忘れることができません。今回、朋友祭実行委員を通して、学年を越えてたくさんの人と関わったことは、私にとって特に大きなことでした。人見知り気味の自分を変えたいと思っていましたが、この経験で、大きく成長できたと実感しています。何も分からない私たちに力を貸してくださった先生方、協力してくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

(平成29年2月)



開校記念講演会より

平成28年10月24日(月)に、開校記念式典及び記念講演会を開催しました。記念式典では、大島同窓会会長、田口PTA会長にご臨席を賜り、来賓の方々と同校13周年を祝いました。記念講演会では、パナソニック・ワイルドナイツ所属の福岡堅樹氏から「有言実行」という演題で講演をいただきました。

福岡氏は、2015年のラグビーワールドカップ日本代表として活躍し、また、2016年リオデジャネイロ五輪7人制ラグビーの日本代表(セブンズ)としてベスト4まで勝ち上がったことは記憶に新しいです。その後も、福岡氏はスピードを生かしたプレーを持ち味として、チームに貢献しています。

講演で、福岡氏は、生い立ちから現在に至るまでの経緯を分かりやすく話されました。高校時代、



高校の日本代表のオファーを受けながら怪我で断念せざるを得なかったこと。だから大学でもっと上を目指そうとラグビーの継続を決断したこと。医学部受験も失敗したこと。そういう経験から、何事もポジティブに捉えることが大切であると話されました。また、自分の目標や夢を他人に言うことで自らを追い込み、実行しなければならない状況をつくりだすこと。そういう有言実行を意識して実践していることを自分の体験を交えながら熱い口調で語られました。

このポジティブに捉えることと有言実行は、生徒を励まし、生徒の背中を強く押ししてくれました。

部活動報告 (平成28年12月執筆。学年は平成28年度のものです)

前期サッカー部

現在、前期サッカー部は2年生6人、1年生10人の計16人で活動しています。発足した9月に比べ、やっとチームとして成り立ってきました。今のチームの目標は、「連動したプレー」です。個人のレベルは低いですが、連動した攻撃、守備で戦っていきます。前回の新人戦は2回戦で負けました。そこから成長した姿を見せられるよう、日々の練習から試合を意識して、プレーの質を高めていきたいです。残るチャンスを無駄にせず、県大会にいきます。

2年 高橋 陽

後期サッカー部

僕たちサッカー部は現在、3年生10人、4年生8人、5年生11人、マネージャー2人の計31人で活動しています。グラウンドでのサッカーの練習はもちろん、ウエイトトレーニングやミーティングを重ね、少しずつチームの力が向上していることを実感しています。強いチームになるまでの道のりはまだまだ長いですが、自分たちの能力を生かした「頭」を使うサッカーを武器に、チーム全員で勝利を目指して日々努力していきたいと思います。

5年 小林 昌樹

前期陸上競技部

前期陸上競技部の目標は3つあります。「挨拶・返事は大きな声で」、「行動は素早く」、「マイナス発言禁止」。男子は、大会でそれぞれがベストを出す、女子は、今年度の県総体で優勝したので、2連覇を目標にしています。そのために、冬季練習で走り込みを頑張り、補強で力を付け、個々の力とチーム力を高めていきます。

新聞などで結果が出るとお思いますので、応援よろしくお願いします。

2年 石原口バート龍

後期陸上競技部

私たちは、一人一人の専門種目は異なりますが、競技に対する意識や姿勢でお互いを刺激し合える一つのチームです。どんなコンディションの中でも、自分の最高のパフォーマンスができるよう、心身共に鍛えています。「すべては一瞬のために」を motto に、今日という日を大切に仲間と全力で練習に励みます。私達を支えてくださる全ての方々への恩返しとなるように、競技者としての自覚を持ちながら精進していきたいと思ひます。

5年 笠原 実紅

前期野球部

前期野球部は、中村先生と松村先生の指導の下活動していて、野球に対して真摯に取り組むことを意識しています。夏場は体力強化と体作りに取り組み、苦しくても頑張ったことで県大会では10年ぶりに初戦突破をしましたが、2回戦では敗れ、一球の重みを知りました。来年の春と夏に県大会で勝つために課題を持って練習しています。日頃支えてくださる様々な人たちへの感謝の気持ちを全力プレーで表現していくので応援よろしくお祈いします。

2年 金井 大起

後期硬式野球部

「夢幻」は「夢現」となり、いま新たな「無限」の未来をめざして飛躍してゆきたい…

「むげんかん」は1987年中央高校の甲子園出場を記念して建てられた硬式野球部の室内練習場である。当時、野球部顧問であった山口聡先生がさまざまな思いを込めて命名した。私達、中央中等教育学校硬式野球部は少人数ではあるが、チーム内で切磋琢磨し、先輩方の思いを胸に、甲子園出場を目指して、全員野球で頑張ります。

5年 林 歩

前期卓球部

こんにちは。私たち前期卓球部は顧問の齊藤先生のもと、2年生10人、1年生9人の合計19人で活動しています。

1年生は、基本的な技術を習得でき、2年生はプレースタイルが固まってきました。最近、大会や練習会で見出した課題を克服したり、得た技術を部員同士で共有したりして練習しています。私たちの目標は県大会出場です。

これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張ります。

2年 佐藤 夕夏

後期卓球部

6年生が引退されてから早くも6ヶ月が経ちました。慣れないことも多く、様々な面で先輩方の偉大さを感じながら、日々練習に取り組んでいます。

県外への遠征や県外強豪校との練習などを通して明らかになった「フットワークを滑らかにするための筋力強化」を目的に、週末だけでなく、平日の練習後も走り込みに取り組んでいます。

練習ができることへの感謝も忘れず、結果が出せるよう、日々精進していきたいと思ひます。

4年 佐藤 康平

前期女子バレーボール部

私たち前期女子バレーボール部は、1年生7人、2年生4人の計11人で活動しています。まだまだ課題も多く、未熟なチームですが、団体競技において最も重要な点である「繋がり」を意識して日々練習に励んでいます。至らない部分も多く、上手いかないこともあります。各々が自分のプレーを見直し、改善策を考えるようにしています。これからも心身ともに強くなれるよう努力していきますので、応援よろしくお願いたします。

2年 下田 光留

後期女子バレーボール部

私たちバレー部は5年2人、4年3人、3年6人の計11人で活動しています。バレー部は毎年部員不足に悩まされ、今年も部員は足りておらず、10月に行われた大会には友達と女子バスケ部員に助けをもらい、出場することができました。結果は負けてしまいましたが、正直負けた気がしませんでした。それは全員が全力でプレーでき、そして笑顔で楽しく試合ができたからだと思います。これからも持ち前の明るさと感謝の気持ちをボールに乗せたいです。

5年 伊藤 菜月

前期男子テニス部

僕達前期男子テニス部は、2年生が17人、1年生が7人の計24人で活動しています。大会での目標は、個人戦では前回の大会より勝つこと、団体戦では初戦突破することです。そのために、練習で試合をして試合の経験を積んだり、体力づくりをしています。

テニスは個人競技ですが、僕達はそれ以前に前期男子テニス部というチームです。お互いが協力し合うチームにしていけるようにがんばります。

2年 高橋 晟人

後期男子テニス部

後期男子テニス部は4年（高校1年）3人、5年（高校2年）に、今夏から3年（中学3年）を加えた12人の生徒と熱心な指導をしてくださる顧問の星野先生、副顧問の箕輪先生で活動しています。今冬、私たちは春の総体の個人戦、団体戦に向けて個々の技術を向上させられるよう練習をしています。秋の新人戦では県ベスト4に終わってしまいましたが、関東、全国を目指し、周囲への感謝の心を忘れずに頑張っていきます。

5年 吉澤 天翔

前期女子テニス部

こんにちは。前期女子テニス部です。私たちは2年生4人、1年生7人の計11人で活動しています。私たちは2年生と顧問の堀越先生を中心に試行錯誤を繰り返しながら、今日も元気に活動中です。

前回の大会では1人1人が悔しい思いをしました。次の大会ではそんな思いをしないようそれぞれの弱点を克服するべく考えながら、練習しています。

これからはさらなる高みを目指し、日々努力していきます。応援よろしくお願いたします。

2年 時澤 舞

後期女子テニス部

後期女子テニス部は5年生4人、4年生4人の計8人で、火曜日はサンピア、水曜日～日曜日は学校南コートで活動しています。先輩方から受け継いできたベスト4という壁は高く、新人戦ではベスト8という結果に終わりましたが、目標達成に向け、冬季は体力づくりを中心に日々切磋琢磨しています。顧問である原沢先生や副顧問の富所先生をはじめ、支えてくださっている皆さんに感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきます。

5年 平方 春佳

前期男子バスケットボール部

前期男子バスケットボール部です。僕たちは、2年生6人、1年生5人の計11人で、人数は少ないながら顧問の先生方、後期生の先輩方の指導のもと日々頑張っています。

新人戦では悔しい結果に終わってしまいましたが新チーム発足からの目標である「県大会出場」に向けてこれからも先生方のご指導をいただきながら、11人全員で頑張っていきます。これからも応援よろしくお願いたします。

2年 昼間 遵平

後期男子バスケットボール部

私たち後期男子バスケットボール部は、総勢10名で活動しています。高校生という限られた時間を無駄にしないよう毎日内容の濃い部活を行っております。11月に行われた西毛地区新人大会ではベスト8に入ることができました。私はこの大会を通して、少ない人数でもこのような成績を残すことができるという大きな希望が見えました。私たちの代になりまだ日も浅いですが、中央中等の名を背負い、チーム一丸となって頑張っていきたいと思っております。

5年 今井 慶彦

部活動報告

前期女子バスケットボール部

私たち2年生5人、1年生4人の計9名で顧問である小山先生を始めたくさんの先生方のご指導のもと、元気に活動しています。「県大会出場」と「女子力とシュート力UP」が私たちの目標です。女子力とは笑顔で挨拶ができることや、コート内外で気配りができること。社会に出てから必要なことをバスケットボールを通じて学んでいます。これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張りますので、応援よろしくをお願いします。

2年 駒井 美樹

後期女子バスケットボール部

8人の3年生の新入部員を迎え、ここ数年の中央中等では稀に見る大人数の中、スタートしたこのチーム。バスケット未経験者ながら必死に練習に食らいついてくれる後輩を見て「負けていけない」という気持ちから全員の練習の取り組みの意識が向上しているのを感じています。

今後も支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、仲間を信じて、バスケットに励んでいきたいです。

5年 清水 響

前期バドミントン部

私達前期バドミントン部は、男女合わせて20名の個性あふれるメンバーで活動しています。にぎやかな2年生とやる気に満ちた1年生とが協力し合っでより良い部活を作っています。

こんなににぎやかな部活ですが、実績は県トップクラスです。新人戦では団体戦、個人戦ともに優秀な成績を残してきました。

今後も個々の技術向上とともに部活全体の向上も目指しお互いに切磋琢磨し合っていきたいです。

2年 細川 優衣

後期男子バドミントン部

男子バドミントン部は総勢26人と、大所帯ではありますが第二体育館で効率的な練習を心がけて部活動に励んでいます。先日行われた新人大会では、努力が実り団体6位の成績を収めることができました。来年の高校総体では関東大会開催県が群馬県ということで上位6校が関東大会出場可能です。6位維持を目標とせず、さらに成績を上げられるように努力していきたいと思えます。お時間が許すようなら遊びに来てください。

5年 小岩井 友輔

後期女子バドミントン部

後期女子バドミントン部は個性的で情熱的な部員たちで毎日楽しく活動しています。学年の枠を超えてとても仲の良い部活です。新人戦では団体戦で惜しくも2回戦敗退してしまいましたが、この悔しさをバネに12月末からのGFリーグでは個人でも団体でも、もっと良い結果が残せるよう練習に励んでいきたいです。これからも私たちのモットーである「笑顔でバド」の精神をもって精一杯がんばりますので、今後とも応援よろしくをお願いします。

5年 黒岩 那月

美術部

美術部の普段の活動はJAMの原稿作りや油絵などの個々の作品の作成です。みんなそれぞれ自分の好きなテーマ、画材で、絵を描いています。また、フロンティアの絵の作成、朋友祭の展示や総文祭への出品などもしています。それに向け、半年前から準備をすることもあります。また、今年は朋友祭があったので引退された6年生4人とともにディズニープリンセスをテーマに美術部の展示を創り上げました。部員20人で週2日楽しく仲良く活動をしています。

5年 山口 紗季

前期文化部

私たち前期文化部は、2年生11人、1年生22人の計33人で活動しています。活動内容は主に3つです。1つ目は、百人一首で、週に3回行っています。2つ目は、茶道で、週に1回、後期茶道班の先輩方から御指導いただいています。3つ目は、華道で、月に1度と、学校行事の前に、外部から先生を招いて、行っています。

それぞれの活動から、日本の文化を身につけられるよう、これからも部員一同努力して参ります。

2年 清水 優

後期文化部百人一首班

私たちは個性豊かな11人で、互いに切磋琢磨しながら練習に励んでいます。2016年3月に競技かるたを題材とした映画が公開され、競技かるたがどのようなものなのか、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。

活動2年目となった今年度は、大会でも結果を残せるようになり、飛躍の年となりました。来年度は、高校選手権の県予選を突破し、全国大会に出場することを目標に、部員一同頑張りたいと思えます。

5年 鹿田 廣子



後期文化部茶道班

私たちは4年生5人、3年生5人の計10人で週3日活動しています。水・金曜日は前期生と一緒に自主稽古をし、木曜日は大日本茶道学会の先生にご指導頂いています。朋友祭の前になると、日々の稽古により一層力が入ります。

この部活は、普段触れることの少ない日本文化を学ぶことができる良い機会でもあります。楽しみながら、和の雰囲気や伝統的な考え方に親しんでいけたらと思っています。

4年 木村 瑞希

科学部

科学部では、「三次元液体ディスプレイの開発」通称「Liquid 3D」を発展させた新研究である「ARグラスの作成」、「赤城山のマツ林の研究」、「マツ枯れやササの繁茂状況が臨床の植物に与える影響」、「中庭ビオトープ化計画（仮）」、「Unityを用いた液状化シミュレーション」、「ロボカップに向けたダンスロボットの製作」、「NXTとArduinoのセンサーの比較」といった研究に、楽しく真面目に、日々切磋琢磨しながら取り組んでいます。

5年 山口 万里花

管弦楽部

管弦楽部は、今年度新たに10名の新入生を迎え、現在は総勢95名で活動しています。部員一同、精力的に部活動に取り組んでおり、前回の定期演奏会では、より一層の成長と充実を感じることができました。定期演奏会は毎年2回開かれます。来たる2017年9月2日(土)には、第22回定期演奏会が開かれますので、懇意の方のほか、多くの方にご来場いただきたいと存じます。ぜひお越しください。今後とも管弦楽部をよろしく願いたします。

5年 茂木 凜音

応援団

押忍！応援団です。僕たちは現在団員5名で活動しています。頼りになった先輩方が引退して早4カ月が過ぎ新たな団員を迎えた新生応援団は中央高校の伝統を受け継ぎ日々精進しています。さて、応援団は昨今の団員減少により委員会となり他の部活との兼部が可能になりました。しかし、少ない人数でも全員誠意をもって夏は野球部を始めとする各運動部、冬は受験生など、応援団は努力を継続するすべての生徒を応援しています！

4年 井出 凜太郎

学生小論文の全国コンテストで優秀賞受賞

日本と世界の将来について、次代を担う若い学生に考える機会を持ってもらうための「NRI学生論文コンテスト2016」（野村総合研究所主催）で、5年生の武井綾音さんが高校生の部の優秀賞に選ばれた。

武井さんの受賞作は、「拡張型心筋症治療の未来～心臓移植以外の手段で命を救う～」。

武井さんは、日本人の渡航移植の現状を冷静に分析し、移植以外の心臓治療について研究。人工心臓の小型化ポンプを体内の動脈・静脈に装着し、血流を全身に促すという新たな治療法を提示し、全国2915本の応募の中から、見事優秀賞に選ばれた。

武井さんの将来の夢は医師になること。やがては病気に苦しむ患者の心に寄り添う医療を目指したいと抱負を語る。

○武井さんのコメント「自分の意見を正式な形で発信するのは初めてで、興味のある分野について研究した結果、このような賞をいただくことができ大変うれしいです。」

平成29年4月1日付 学校教職員人事異動(敬称略)

離任者

職名【教科】	氏名	転出先
校長	松本 昭彦	退職
教諭【国語】	小室 奈那	太田市立太田高校
教諭【数学】	関口 理	県立渋川女子高校
教諭【数学】	高橋 利之	県立万場高校(教頭)
教諭【英語】	星野 亨	県立桐生高校
教諭【英語】	須田 響二	県立高崎高校
教諭【美術】	角田 結子	退職
主事	新井 拓郎	県立しろがね特別支援学校

新任者

職名【教科】	氏名	前任校等
校長	清水 照久	県立安中総合学園高校
教諭【国語】	吉田 信子	県立渋川高校
教諭【数学】	新井 裕之	県立前橋高校
教諭【数学】	岡田 一輝	新採用
教諭【理科】	富澤 空	新採用
教諭【英語】	寺島 優美	県立前橋商業高校
教諭【英語】	上原 美代子	高崎市立高経大附属高校
主事	伊藤 尚人	新採用

平成28年度卒業生進路概況 ～現役進学率、4年連続で90%超～

群馬県立中央中等教育学校進路指導部

1 概況

平成29年3月に卒業した8期生122名は、文部科学省からSGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）に指定された本校において、その教育課程を履修した最初の学年です。一人ひとりが自分の夢や希望を実現すべく「第1志望校、現役合格」をめざして前進し、それぞれの進路先に進みました。現役進学率は、ここ3年間の先輩学年と同様に90%を超えました。

本校の進路指導は、生徒が自らのキャリア観を構築し、その実現のために第1志望校を吟味・設定するよう、生徒一人ひとりに対してきめ細かく対応しています。6年間をかけて「自らの努力で進路をつかみとる力」を身につけた8期生は、近未来の社会において本校の教育理念である「World Citizen」として活躍するものと確信しています。

2 難関大、医学科等

現役生は東大1名（理I）、京大2名（法）、一橋

大2名（商・社会）のほか、山形大医学部医学科、新潟大歯学部歯学科、東京女子医大医学部にそれぞれ1名が進学します。他に、慶應義塾大学医学部には1名が合格しています。

3 国公立大

国公立大現役合格者55名のうち、国公立大進学者は44名です。一方、私立大進学者が8名、進学努力継続者も3名にのぼったことは、新しい傾向です。

4 私立大

首都圏の有名私立大が全国の受験生の人気を集めています。本校でもその傾向が顕著で、私立大への進学者62名は、本校史上最多です。

5 過年度卒業生（浪人生）

進学先として、群馬大医学部医学科1名、筑波大1名等があげられます。

6 展望

大学進学に際して現行のセンター試験を受験するのは現在の高校1年生までとなり、中学3年生以降

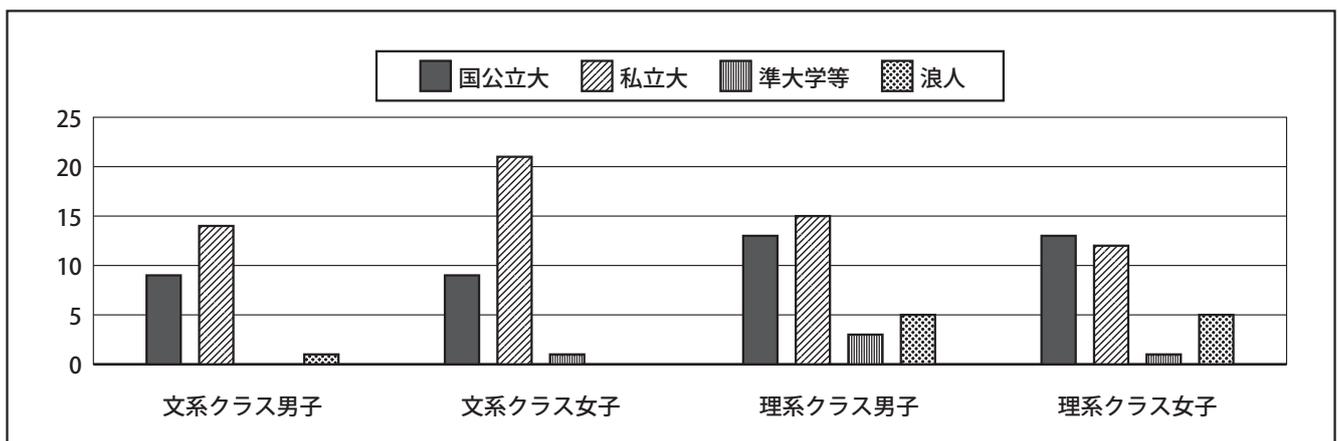
はいわゆる「評価テスト」を受験することになります。この歴史的な進路環境の変化に対して、本校は万全の対応をとり、生徒全員の「第1志望校、現役合格」を目標として進路指導をいっそう充実させてまいります。今後も関係の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

【表1】 卒業生の進路別実人数（現役生のみ）

区分	期	1	2	3	4	5	6	7	8
		期生							
大学	国公立	50	51	50	49	60	61	60	44
	私立	53	56	48	54	52	46	53	62
準大学等		4	4	0	3	4	3	2	5
就職		0	0	0	0	0	0	0	0
進学努力継続		17	13	21	14	8	9	7	11
合計(卒業生数)		124	124	119	120	124	119	122	122
現役進学率(%)		86.3	89.5	82.4	88.3	93.5	92.4	94.3	91.0

- ・準大学等…大学校、短大、専修・各種学校、海外の大学を含む
- ・現役進学率…(卒業生数－進学努力継続)／卒業生数×100

【表2】 8期生の文理別、男女別の進路先（実人数）



大学等合格者数（最近の3年間）

平成29年4月 群馬県立中央中等教育学校

国立大学			
大学名	H27	H28	H29
北海道	2 (1)		
帯広畜産			1
岩手		1	
東北	8	6	5
秋田		2	1
山形		1	2
福島		1	
茨城		1	1
筑波	1	3 (1)	3 (1)
宇都宮	2		
群馬(社会情報)		2	
群馬(教育)	2	1	
群馬(理工)	4	3	2
群馬(医-医)	3 (1)	1	1 (1)
群馬(医-保健)	3	2	3
埼玉	2	2	3
千葉	3 (1)	1	1
お茶の水女子		3 (2)	2
電気通信		1	
東京	3	7 (3)	1
東京医科歯科	1		
東京外国語	1	1	1
東京学芸	4		
東京藝術	1		1
東京工業		1	
東京農工	1	1	
一橋	3	2	2
横浜国立	6	3	1
上越教育		1	2
新潟	2	4	4
富山	1		1
金沢		2	3
信州		2	
静岡		1	
京都	2	2	2
大阪	2		
奈良女子		1	
鳥根	1 (1)		
広島		1 (1)	
宮崎		1	
合 計	58 (4)	61 (7)	43 (2)

公立大学			
大学名	H27	H28	H29
国際教養	4	2	
福島県立医科		1	
群馬県立県民健康科学	2	1	1
群馬県立女子	3	1	5
高崎経済	4	3	3 (1)
前橋工科	1		1
埼玉県立	1		
千葉県立保健医療			1
首都大学東京	5	3	1
横浜国立	1	1	1
新潟県立	1	1	
長岡造形	1		
都留文科		1	1
静岡県立			1
京都市立芸術			1 (1)
合 計	23	14	16 (2)

私立大学(抜粋)			
大学名	H27	H28	H29
国際医療福祉		2	3
自治医科		1	1
獨協医科		1	
白鷗		1	2
関東学園			1
共愛学園前橋国際	6	2	2
桐生	1	2	
群馬医療福祉		1	1
群馬パース	2	2	
高崎健康福祉	3	12	8
浦和			1
埼玉工業			9
女子栄養	3	1	
東邦音楽			1
獨協	2		10
文教	5	3	3
秀明			2
千葉科学			2
東京成徳			1
青山学院	7	8	6 (1)
亜細亜	1		1
桜美林			1
大妻女子	5		
学習院		2	
学習院女子		1	1
北里	8	11	6
杏林	1	1	1
慶應義塾	9 (1)	8 (3)	5
工学院	4	2	2
國學院	1	2	2
国際基督教		1	1
国土館	1	1	3
駒澤	2	1	8
実践女子	6	6	
芝浦工業	12	12	11
順天堂	1	2	
上智	4	1	3
昭和		1	3
昭和女子	2	1	
白百合女子	2	1	2
成蹊		1	2
成城	1		4
聖心女子		1	1
清泉女子			1
専修	1	4	5
創価			2
大東文化	6	1	3
玉川	1	4	2 (1)
多摩美術	3	1	1
中央	24 (2)	27 (2)	19 (1)
津田塾	3	5	5
帝京	4	1	3
東海	4	3	6
東京音楽			1 (1)
東京家政	9	1	
東京工科	3	4	
東京女子	8	5	4
東京女子医科	1 (1)	2	1
東京電機	3	8	2
東京農業	1	11	7

大学名	H27	H28	H29
東京都市			1 (1)
東京福祉	5	2	5
東京薬科		3	1
東京理科	24 (2)	20 (1)	4 (1)
東邦	1	3	
東洋	9	11	18
二松学舎			1
日本	16 (1)	26 (2)	18
日本獣医生命科学		1	
日本女子	8	1	3
日本赤十字看護			1
法政	9 (1)	24 (1)	18
星薬科	2 (2)	3	1 (1)
武蔵		3	2
武蔵野	3	3	4
武蔵野音楽			2
武蔵野美術	4		5
明治	23 (1)	42 (2)	11
明治学院	9	5	6
明治薬科		2	
明星		2	
目白	2		2
立教	19	33	11
立正		1	2
早稲田	22 (3)	26 (5)	12
麻布		2	1
神奈川	4	5	2
東洋英和女学院			4
フェリス女学院	5		2
山梨学院		2	
金沢工業	2		1
京都産業		2	2 (2)
京都女子		1	
同志社			1
立命館			4
龍谷			1 (1)
関西			1 (1)
近畿	5	2	
奈良			2
関西学院	1	1 (1)	
立命館アジア太平洋		1	1
合 計	348 (15)	408 (18)	322 (11)

準大学、短大、専修・各種学校、海外の大学等(抜粋)			
学校名	H27	H28	H29
防衛大学校		1	
聖徳大短大部	2		
青山学院女子短大	1		
海上自衛隊航空学生			1
航空自衛隊航空学生			1
海上保安学校			1
東京メディカル・スポーツ専門			1
海外の大学	1		1
合 計	5	5	5

- 年度は入試年度
- 数字はのべ人数
- ()内は過年度卒業生の内数
- 平成29年3月末日までの判明分

収支報告

平成27年度
群馬中央同窓会決算

■ 一般会計

収入の部 (単位:円)				
区分	予算額(A)	決算額(B)	差引増減(B-A)	備考
前年度繰越金	386,717	386,717	0	
運営費計	3,396,000	3,392,000	△4,000	
入会金	1,220,000	1,220,000	0	10,000円×122名
特別会費	976,000	976,000	0	8,000円×122名
年会費	1,200,000	1,196,000	△4,000	2,000円×558名+80,000円×1名
総会費	220,000	174,000	△46,000	3,000円×58名
特別積立会計より	0	0	0	
その他収入	283	156	△127	利息
合計	4,003,000	3,952,873	△50,127	

支出の部 (単位:円)				
区分	予算額(C)	決算額(D)	差引増減(C-D)	備考
会議費計	720,000	514,816	205,184	
総会	600,000	412,686	187,314	通常総会
会議費	120,000	102,130	17,870	役員会
事業費計	1,250,000	1,171,674	78,326	
会員親睦費	100,000	100,000	0	活動費補助
母校寄与事業	1,000,000	1,000,000	0	図書蔵書、地球市民語学研修補助ほか
会報製作・発送費	0	0	0	
行事費	150,000	71,674	78,326	開校記念式典、ビジネス交流会助成金ほか
渉外費	90,000	88,000	2,000	交際費(職員歓迎会参加費ほか)
広告費	50,000	27,000	23,000	高校野球ガイド広告掲載料
慶弔費	80,000	24,425	55,575	弔慰(香典、供花ほか)
通信費	25,000	0	25,000	
卒業記念品費	85,000	77,209	7,791	卒業証書ホルダー
転退職者餞別	55,000	55,000	0	転退職員餞別金
積立金	1,320,000	1,320,000	0	特別会計積立金
予備費	328,000	165,462	162,538	母校へ物品寄付(簡易三脚タイプスクリーン)ほか
合計	4,003,000	3,443,586	559,414	

収入総額3,952,873円 - 支出総額3,443,586円 = 509,287円 (28年度へ繰り越し)

■ 特別積立会計

収入の部 (単位:円)				
区分	予算額(A)	決算額(B)	差引増減(B-A)	備考
繰越金	36,561,477	36,561,477	0	
一般会計繰入金	1,320,000	1,320,000	0	
その他収入	5,523	5,965	442	
合計	37,887,000	37,887,442	442	

支出の部 (単位:円)				
区分	予算額(C)	決算額(D)	差引増減(C-D)	備考
同窓会費-一般会計へ	0	0	0	
周年事業	0	0	0	
その他支出(次年度繰越金)	37,887,000	0	37,887,000	
合計	37,887,000	0	37,887,000	

収入総額37,887,442円 - 支出0円 = 37,887,442円 (28年度へ繰り越し)

監査の結果、相違ないことを証明する。

平成28年3月31日 会計監査 工藤 雅史
生沼 英治

平成28年度
群馬中央同窓会予算

■ 一般会計

収入の部 (単位:円)				
区分	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(A-B)	備考
前年度繰越金	509,287	386,717	122,570	
運営費計	3,414,000	3,396,000	18,000	
入会金	1,230,000	1,220,000	10,000	10,000円×123名
特別会費	984,000	976,000	8,000	8,000円×123名
年会費	1,200,000	1,200,000	0	
総会費	220,000	220,000	0	
特別積立会計より	1,000,000	0	1,000,000	
その他収入	713	283	430	
合計	5,144,000	4,003,000	1,141,000	

支出の部 (単位:円)				
区分	予算額(C)	前年度予算額(D)	比較増減(C-D)	備考
会議費計	720,000	720,000	0	
総会	600,000	600,000	0	通常総会
会議費	120,000	120,000	0	役員会
事業費計	3,800,000	1,250,000	2,550,000	
会員親睦費	100,000	100,000	0	活動費補助
母校寄与事業	1,000,000	1,000,000	0	図書蔵書、地球市民語学研修補助ほか
会報製作・発送費	2,300,000	0	2,300,000	
行事費	200,000	150,000	50,000	開校記念式典補助ほか
Webページ設置管理料	200,000	0	200,000	群馬中央同窓会ホームページ管理料
役員費計	70,000	25,000	45,000	
通信費	15,000	25,000	△10,000	郵便料、メール便
払込手数料	55,000	0	55,000	年会費払込料金加入者負担額
渉外費	100,000	90,000	10,000	交際費
広告費	50,000	50,000	0	高校野球ガイド広告掲載料ほか
慶弔費	80,000	80,000	0	慶弔
卒業記念品費	85,000	85,000	0	卒業証書ホルダー
転退職者餞別	75,000	55,000	20,000	転退職員餞別金
積立金	0	1,320,000	△1,320,000	特別会計積立金
予備費	164,000	328,000	△164,000	
合計	5,144,000	4,003,000	1,141,000	

■ 特別積立会計

収入の部 (単位:円)				
区分	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(A-B)	備考
繰越金	37,887,442	36,561,477	1,325,965	
一般会計繰入金	0	1,320,000	△1,320,000	
その他収入	3,558	5,523	△1,965	
合計	37,891,000	37,887,000	4,000	

支出の部 (単位:円)				
区分	予算額(C)	前年度予算額(D)	比較増減(C-D)	備考
同窓会費-一般会計へ	1,000,000	0	1,000,000	
周年事業	0	0	0	
その他支出(次年度繰越金)	36,891,000	37,887,000	△996,000	
合計	37,891,000	37,887,000	4,000	

トピックス

北島寿典君(中央高38期)オリンピックに出場

2016年8月、ブラジル・リオデジャネイロで開催された31回夏季オリンピックに於いて、中央高校卒業生(38期)の北島寿典君がマラソンレースに日本代表として出場しました。

卒業後、4年間の東洋大学での競技生活を経て(株)安川電気(福岡県北九州市)に就職し、社会人ランナーとして、正月に地元・群馬で開催されるニューイヤー駅伝等で活躍していた北島君。晴れて日本代表に選ばれ、オリンピック出発前には母校を訪問し、後輩達の厚い激励を受けて勇気づけられました。

練習中の故障の影響もあり、レース結果は残念な結果に終わりましたが、本人は帰国後間もなく次回東京オリンピックに向けて練習を再開したようです。次の代表を決める選考レースまでは早くも3年後に迫り、本人も連続出場に向けて、そして今度こそ結果が残せるようより一層の努力をすると決意を語っていました。

清水歓太君(中等6期)箱根駅伝で活躍 櫻井康裕君(中等5期)はゴールで応援

今年1月2日・3日に開催された箱根駅伝に於いて、中央中等卒業生(6期)の清水歓太君(早稲田大学2年)が復路の最終10区に出場し、2年生ながら区間9位と健闘し、早稲田大学総合3位入賞に貢献しました。まだ2年生の清水君。3年生・4年生でも今回と同様に箱根駅伝で活躍し、やがては北島君のように日本を代表する選手となって、是非オリンピックに出場してもらいたいと思います。

また、同じく箱根駅伝に於いて、早稲田大学応援部主将として、力走する清水君を懸命に応援する中央中等卒業生(5期)の櫻井康裕君の姿がゴール付近で見られました。皆様ご承知のように、特に東京六大学で応援部の主将を務めるのは非常に難関のようです。

年齢差があり、直接面識はありませんが、様々な場面で母校の名前を目にするのはやはりうれしいものです。これを機会に今まで以上にニューイヤー駅伝、箱根駅伝等に関心を持ち、皆で応援しましょう。

次号で、上記3人の対談を企画する話も持ち上がっています。楽しみにしてください。

活動報告

首都圏支部懇親会開催



昨年平成28年10月22日に首都圏支部懇親会を港区新橋にある中国料理新橋亭において開催しました。大島同窓会会長、後藤首都圏支部長の挨拶のあと懇親に移り、出席者の近況報告や昔の懐かしい思い出話などで大盛況でした。今回、リオ・オリンピックの北島選手の出場も話題となり、また、新しい出席者もあり活気に満ちた会となりました。次回の首都圏支部の懇親会には、新しい企画も予定しておりますのでぜひ皆様ふるって参加してください。

(首都圏支部 支部長 後藤 隆次郎(9期))

朋友会ゴルフコンペ

第69回大会

2016年4月29日

順位	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
優勝	天田 行彦	47	47	94	21.6	72.4
準優勝	川上 澄夫	42	43	85	12.0	73.0
3	椛沢 均	43	46	89	15.6	73.4
4	中台 啓一	43	46	89	15.6	73.4
5	品川 芳春	47	47	94	20.4	73.6

他参加者▶山木宏朔、新井莊一、矢島晴雄、清水隆、網野良彦、堀越光久、岩見克一、岩崎進、小川隆、山田博、田中健治、関谷貴、吉村晴彦、藤川清幸、鳥羽親彦、静敦、小和瀬一幸、佐藤義久、松本俊司、鈴木正治、松本佳代子

第70回大会

2016年11月3日

順位	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
優勝	山木 宏朔	48	45	93	20.4	72.6
準優勝	金子 貴	39	44	83	9.6	73.4
3	茂木 満	38	39	77	3.6	73.4
4	川上 澄夫	47	39	86	12.0	74.0
5	中台 啓一	42	38	80	6.0	74.0

他参加者▶堀越光久、中島幸和、田中健治、静敦、川浦淳治、藤川清幸、深澤和彦、天田行彦、品川芳春、新井莊一、網野良彦、佐藤茂章、関谷貴、椛沢均、高橋正生、佐藤義久、佐藤誠一、小和瀬一幸、広瀬雅俊、麻生茂夫、小川隆、武野正志、鳥羽親彦

皆さんも参加してみませんか?今年も第71回4月29日、第72回11月3日開催予定です。

連絡先 ● 佐藤 義久(11期)

携帯:090-3539-5745

E-mail: secfield@olive.ocn.ne.jp

平成28年度 通常総会・懇親会開催

平成28年6月18日(土)、エテルナ高崎に於いて通常総会・懇親会が開催されました。

総会では、会則・役員組織の変更等が議題となり、出席された皆様のご協力のもと、スムーズな進行でつつがなく終了しました。

懇親会では、初めて参加をした中等卒業生も交え、年代を超えた話題に花が咲く中、時間の関係で名残を惜しみつつ閉会となりました。



事業報告

平成28年度 群馬中央同窓会事業報告

- 4月7日(木) 群馬県立中央中等教育学校 第13回入学式
- 4月12日(火) 第1回幹事会(会報・会則等変更について他)
- 4月15日(金) 群馬県立中央中等教育学校主催歓送迎会参加
- 4月28日(木) 同窓会報第23号発行
- 4月29日(金) 第69回朋友会ゴルフコンペ
- 5月10日(火) リオオリンピックマラソン代表 北島寿典選手 母校訪問壮行会
- 5月13日(金) 群馬県立中央中等教育学校教職員との懇親会
- 5月24日(火) 第2回幹事会(総会準備について他)
- 6月14日(火) 開校記念講演会打ち合わせ
- 6月18日(土) 通常総会・懇親会(エテルナ高崎)
- 8月31日(水) 同窓会報編集委員会
- 10月20日(木) リオオリンピックマラソン代表 北島寿典選手 御礼来校 歓送迎会
- 10月22日(土) 首都圏支部懇親会
- 10月24日(月) 開講記念式典・記念講演会
(リオオリンピックラグビー代表 福岡堅樹選手
(パナソニックワイルドナイツ))
- 11月3日(木) 第70回朋友会ゴルフコンペ
- 12月6日(火) 同窓会報編集委員会
- 2月28日(火) 群馬県立中央中等教育学校第8期卒業生
同窓会入会式(記念品を贈呈)
- 3月1日(水) 群馬県立中央中等教育学校 第8回卒業式
- 3月17日(金) 第3回幹事会(会報、次年度総会について他)

お知らせ

第2回ビジネス交流会のご案内

昨年、諸事情により中止となりました第2回ビジネス交流会ですが、今年度改めて開催を企画します。詳細が決まりましたらホームページでご案内いたします。

年会費振込についてのお願い

会費は同窓会の運営のほか、母校の教育支援等の発展のためにも使われています。主旨をご理解いただき、年会費2,000円を納入頂けますようお願いいたします。お手数ですが、同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込みください。

- 年会費振込口座 ゆうちょ銀行 00570-4-49058
口座名 群馬中央同窓会
- ATMによる振込も可能ですのでご利用ください。
(ただし、手数料がかかります)
 - ・群馬銀行 本店営業部 普通預金 2445643
口座名 群馬中央同窓会 会長 大島 聡
 - ・東和銀行 新前橋支店 普通預金 0372142
口座名 群馬中央同窓会 会長 大島 聡

平成28年度同窓会組織役員

会長	川島 陽一 (14)
大島 聡 (9)	砂長 聡 (14)
副会長	関口 朋克 (20)
佐藤 義久 (11)	中台 啓一 (24)
時澤 秀明 (13)	渡邊 辰吾 (30)
書記	高橋 政臣 (33)
福田 幸正 (8)	首都圏支部長
鈴木 正治 (8)	後藤隆次郎 (9)
会計	首都圏支部役員
小和瀬一幸 (14)	根岸みやび (1)
会計監査	堤 秀雄 (2)
工藤 雅史 (12)	顧問
生沼 英治 (17)	塚越 陽平 (1)
幹事	塚越三三男 (2)
千木良芳明 (3)	市川 光則 (6)
藤川 清幸 (11)	※()数字は中央高校卒業期数

編集後記 会報24号発行の運びとなりました。学校の諸先生はじめ、編集・執筆にご協力いただいた方々に御礼申し上げます。

今号では、通常以上に母校に関することに紙面を割きました。編集過程で、母校の私達中央卒業生に対する想像以上の意識の高さを再認識しました。会としても、その期待に応えるべくより活発な活動を心掛けていこうと思います。(役員一同)